



学校だより

北小 Revival～ありがとう 75年 100年に向かってスタート

はと広場

5 月 号

令和 3 年 4 月 3 0 日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

寛容～違うことを楽しむ心～

校長 三村 悟

明日から5月。満開のツツジと鮮やかな緑が「ゴールデンウィーク」という言葉を思い出させてくれます。まん延防止等重点措置の対象地域となり、外出は慎重にならざるを得ませんが、児童には新学期のスタートで張り切った心と体をゆっくりと休め、元気を回復する大型連休にしてもらえればと願っています。

4月は新しい学年になり、クラスも変わり、新しい出会いがたくさんありました。小学校生活がスタートしたばかりの1年生は、担任とのふれあいだけでなく、毎朝教室でお世話をしてくれる、6年生のお兄さんやお姉さんとのかわりも楽しそうです。近頃は廊下で「校長先生、おはようございます」と元気に挨拶してくれる姿も見られます。

掃除の時間に校長室を担当してくれる6年生も、初めの方は緊張気味でしたが、掃除や草取りと一緒に取り組む中で笑顔が増えてきました。中庭の畑で草取りを手伝ってもらった時には、教室にいる2年生から「がんばってくださいー」と声をかけられ、照れくさそうにしていました。

756名の児童が集う本校では、毎日さまざまな出会いがあります。一人一人個性が違いますから、初めて出会う時にはその違いがはっきりと感じられ、時には戸惑うこともあるかもしれません。そんな時大切なのが「違うことを楽しむ心」です。

自分と違うやり方に出会った時に「何でそんなことするのだろう」と相手のやり方を否定的に見るか、それとも「そういうやり方もあるんだ、面白いね」と受け止めるのかで、その後の関係性が全く変わってしまいます。相手の考えを一旦受け止めてみると、興味や関心につながり相互理解が進みます。多様性への理解が重視される時代に大切な寛容の精神は、このような出会いの積み重ねによって育まれていくものだと思います。

「寛容の精神」で思い浮かべるのが、書家の相田みつを氏の次の作品です。

セトモノ と セトモノ と
ぶつかりっこすると すぐこわれちゃう
どっちかやわらかければ だいじょうぶ
やわらかいところを持ちましょう

5月は、4月の出会いを経て心の距離が近くなった友だちと、これまで以上にふれあう機会が増えることでしょう。自分とは違う友だちの考え方も「面白いな」と受け止めて、違いを楽しむことが出来るような心豊かな教育活動を展開していきたいと思います。



はと広場のツツジ(4月27日)